

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

くまもと希望の家

グループの名称

くまもと希望の星

直近採択グループ番号

06-0418-0762

(グループ代表者)

代表者名

村田 英樹

代表者印

代表者所属先

有限会社 村田工務店

代表者所在地

熊本県熊本市東区東野2丁目6番1号

代表者電話番号

096-367-0811

(グループ事務局)

事務局事業者名

肥後トヨー住器株式会社

事務局担当者名

宮坂 美由起

印

事務局郵便番号

861-4214

事務局所在地

熊本県熊本市南区御幸笛田8丁目2番5号

事務局電話番号

096-378-3432

事務局FAX

096-379-4398

事務局担当者E-mail

madolier-kumamotominami@higo-toyo.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		40	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	40	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		30	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	30	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		16	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	16	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		4	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)		未経験工務店に優先的に配分するために、採択棟数の1割を未経験工務店優先として、残りは先着順とする。							
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	16	戸	交付申請戸数	15	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	15	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) くまもと希望の家	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) くまもと希望の星	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0418-0762	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	1)平成25年度改正省エネ法を満たし、平成25年度改正省エネ法に基づく一次エネルギー消費量等級5を取得し、認定低炭素住宅レベルを必須とする。 2)白蟻の被害を防ぐために、基礎に防湿シートを設け白蟻対策をし、更にベタ基礎とすることで防湿・構造共に良質な住宅とすることに取り組む。 3)台風及び大雨の被害軽減のために、雨水浸透枳を設置する。(地盤・敷地の関係上、設置が難しい場合を除く)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	1)夏の日差しを遮るために、軒先を約750mmとして、なるべく長く出した形を推奨する。 多湿地域のため、通気層を設けた通気工法を標準的な仕様とする。	2) ◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	熊本県が推奨する事業[アートポリス事業]では、物の豊かさだけでなく、心の豊かさを求める時代となり、単に機能性のみでの追及の建築から、デザインにも配慮した建築物が社会的に求められる事業であり、このデザインルールをグループとして推進を図る。	◎
④①～③の背景	熊本県の気候は概して温暖で、天草沿岸部は珊瑚礁の最北限になっており、特に熊本市周辺は内陸性気候を示し寒暑の差が大きいのが特徴である。盛夏は35度以上になる日も珍しくなく深夜まで高温が続くに対し、厳冬の最低気温はしばしば氷点下を示すこともある。また、多湿地域であるために白蟻による被害も多い。 近年は、高齢化率(65歳以上の高齢者人口が占める割合)は、29.5%と全国の27.3%を大きく上回っている。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造部の柱・土台は3.5寸以上を使用する。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 土台には原則ヒノキ、ヒバ等を使用する	○
①-3 標準仕様の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 台風及び大雨の被害軽減のため雨水浸透枳を設置し、共同購入を推進する。	○
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループの運営をスムーズに行う為に、検討委員会を設置し、毎月の定例会議を開催することで体制を構築する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が窓口となり、グループのメンバーのメンバーリストを作成し、施工状況や情報管理を共有化することで、情報の合理化を図る。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 基本の施工基準を作成し、グループとして一元化した施工基準を整備する。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 熊本県が推進する一般財団法人建築行政情報センターが発行する検査マニュアルに掲載されている検査チェックシートを活用する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 見積もりでの一式表示等をなくすため、グループ内で見積もり内容などを持ち寄り、標準フォーマットの整備を推進する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループの施工会社を中心として現場見学会などを積極的に開催して、各会社のHPやSNS等を通して地域型住宅の情報を発信することで信頼性の向上につなげる。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人木を活かす建築推進協議会の木造技能者検討委員会の提案に沿って普及促進を図る。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建設職人の技能・経験が蓄積される、本年度より稼働の建設キャリアアップシステムをグループとして普及促進に努める。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 社会保険未加入者に対して社会保険の加入促進を図り、それに伴う勉強会を開催する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建設工事従事者の安全及び健康の確保の推進に関する法律の施行に伴い、必要とされる安全衛生などの環境整備に取り組んでいく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) くまもと希望の家	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) くまもと希望の星	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0418-0762	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成30年度対応方針】		
a	① 住宅蓄積情報の	◎、○ 記入欄
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JBN維持管理計画書等の提出と、指定図書を住宅履歴情報として登録する。
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人JBNの「いえもり・かるて」や、住宅あんしん保証の「あんしんいえかるて」など、第三者が提供するサービスを利用する。
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴預かり証を事務局に提出する。
	② メンテナンス基準	
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 1年・3年・5年・10年・20年・30年の定期点検の実施と完了報告を義務化する。
	②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:
	③ 住まいの管理	
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅引き渡し時にお施主様に管理とメンテナンスの重要性を説明し、住まい手を対象としたおそうじ教室等のメンテナンス講習会を開催する。
	③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループに参加する工務店が、OBや施主を対象にDIY体験会等の実施を図る。
	③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループに参加する工務店が、現場見学会などで住宅相談会等を開催する。
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内に維持管理検討委員会を設置し、定例会議にて勉強会を開催し全構成員で共有する。
	⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の施工会社が倒産した場合は、グループ内の他の施工会社が該当物件等の引継ぎを行う。
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険法人と連携して過去の瑕疵の内容についての研修会の開催を図る。
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
エ. グループの技術力の向上		
【平成30年度対応方針】		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	◎、○ 記入欄
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験工務店に経験工務店が長期優良住宅・ゼロエネルギー住宅の設計及び申請の流れ受注をとる為の営業講習会を開き、安定的な受注が出来るグループを目指す。
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 勉強会を継続的に続けることで、未経験工務店の受注増加を図る。
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅・ゼロエネルギー住宅の経験工務店の現場を見学・勉強会を開催し、各グループの協力業者を参加させ技術を学び合理化を図る。
b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ技術講習会を運営する全国木造住宅生産体制強化推進協議会の構成団体にJBNが参加しているため、各都道府県の木造住宅生産体制強化推進協議会とJBNの連携を図り、グループ施工会社・設計会社・大工等に講習会の周知を図る。
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ・創エネの技術に蓄電設備を設けた住宅を検討し、創エネ・蓄電容量の検証をする。
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 全ての住宅にどれだけの創エネ設備を設けるとゼロエネ住宅になるかの計算シミュレーションをする。
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) くまもと希望の家	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) くまもと希望の星	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0418-0762	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	◎
c	①-1 畳の活用	○
	①-2 和瓦の活用	○
	①-3 襖の活用	○
	①-4 障子の活用	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	○
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	◎
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	<small>（地域型住宅の名称）</small> くまもと希望の家	<small>（地域型住宅供給対象地域）</small> 熊本県
2. グループの名称・結成年月（必須）	<small>（グループの名称）</small> くまもと希望の星	<small>（結成年）</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0418-0762	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
創エネに頼らず住宅本来の性能を生かし、地域に合ったデザイン（遮光・日射侵入率・日射取得・通風）を考え、素材の性能以上の快適な地域型住宅とする。 調湿性能のある素材・材料をなるべく提案して、性能以上の住宅に仕上げる。 平成25年改正省エネ基準に基づく外皮計算による、一次エネルギー消費量計算によって計算する。 全ての住宅に、一次エネルギー計算によって算出した水道光熱費シミュレーションを添付する。		

※） 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。